

科目名 Subject	フェイシャルエステⅡ Facial EstheticsⅡ		教員名	エステチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2単位
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	◎	○	◎	◎	○
科目の概要	皮膚の基礎知識とフェイシャルエステティックにおける電気機器の効果、禁忌事項、使用方法を学ぶ。さらに上記を習得したうえでモデルにあったメニュー組み立てのためのカウンセリング方法を行う。				
授業の目標	エステティシャンセンター試験において必須である皮膚の知識を実際にモデルの肌を触って学ぶことによって統一筆記試験のための基盤を作る。またを年齢（若者から高齢者）や肌質の違うモデルに適したメニューを選択、決定、実践できるようになる。 本科目を履修することにより、エステティシャンセンターにおける皮膚科学、実技試験における電気機器の使用や選択を習得し、応用することができる。				
時間外学習 （予習・復習）	授業で学んだことを復習し、次の授業の内容を確認し、教科書等で予習すること。授業では教科書等の内容が理解されていることを前提として、実技の説明や授業を行います。				
教科書・教材	教科書	新エステティック学（日本エステティック協会テキスト）			
	教材	フェイシャル実技教材フェイシャル実技教材			
	使用設備・備品	フェイシャル室フェイシャル室			
	参考文献				
評価方法	実技試験、筆記試験、授業を通しての学習意欲。平常点20％（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む）試験80％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	本授業はエステティックの資格を取得する為に必要な科目であることから授業時間数の90％を下回る出席率の場合は資格取得の為の受験が出来ないので注意すること。また、授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は、欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。				
本科目履修と関連する資格	資格名	日本エステティック協会 認定エステティシャン 日本エステティック業協会 (AEA) 認定エステティシャン 日本エステティック業協会 (AEA) 上級エステティシャン			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ①（手順の理解）	前期に習得した手順、6手技を肌別、年齢別に合わせて的確に回答できる。	予習：ファイシャルエステⅠで学んだ実技の手順の確認をしておく。
第2回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ②（手順の実践）	前期に習得した手順、6手技を肌別、年齢別に合わせて選択することができる。	前回の復習と予習：新エスティック学テキスト実技編のフェイシャルマッサージの確認
第3回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ③（実践と応用）	前期に習得した手順、6手技を肌別、年齢別に合わせて体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順を理解し、実技練習を行う
第4回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ④（実践と選択）	前期に習得した手順、6手技を肌別、年齢別に合わせて体験し行うことができる。	前回までの復習と予習フェイシャルトリートメントの目的・効果・手順を理解し、実技練習を行う
第5回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ⑤（選択と手技確認）	前期に習得した手順、6手技を肌別、年齢別に合わせた選択と回答をすることができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントとカウンセリングの効果・手順を理解し、実技練習を行う
第6回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ⑥（応用選択と手技確認）	前期に習得した手順、6手技を肌別、年齢別に合わせた選択と応用した技術を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントとカウンセリングの効果・手順を理解し、実技練習を行う
第7回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ⑦（肌別対応）	前期に習得した手順、6手技を肌別に合わせた選択と応用した技術を体験し行うことができる	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントとカウンセリングの効果・手順を理解し、実技練習を行う
第8回	フェイシャルマッサージとクレンジング～仕上げ⑧（年齢別対応）	前期に習得した手順、6手技を年齢別に合わせた選択と応用した技術を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：フェイシャルトリートメントとカウンセリングの効果・手順を理解し、実技練習を行う
第9回	ディープクレンジング復習（エレクトロクレンジング）①（手順の確認）	エレクトロクレンジングの効果と手順を理解し的確に回答できる。	前回までの復習と予習：新エスティック学テキスト実技編のエレクトロクレンジングの効果と手順の確認を行う
第10回	ディープクレンジング復習（エレクトロクレンジング）②（手順の実践）	エレクトロクレンジングの効果と手順について述べるができる。	前回までの復習と予習：新エスティック学テキスト実技編のエレクトロクレンジングの効果と手順の確認を行う
第11回	ディープクレンジング復習（エレクトロクレンジング）③（正確性の確認）	エレクトロクレンジングの効果と手順を選択することができる。	前回までの復習と予習：新エスティック学テキストのエレクトロクレンジングの効果と手順の理解と禁忌事項の確認を行う
第12回	ディープクレンジング復習（エレクトロクレンジング）④（禁忌事項の確認と理解）	エレクトロクレンジングの効果と手順を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：新エスティック学テキストのエレクトロクレンジングの効果と手順の理解と禁忌事項の確認を行う
第13回	ディープクレンジング復習（ゴマージュ・酵素）①（手順の確認）	ゴマージュと酵素の効果と手順を理解し的確に回答できる。	前回までの復習と予習：新エスティック学テキストのディープクレンジングの効果と手順の確認を行う
第14回	ディープクレンジング復習（ゴマージュ・酵素）②（手順の実践）	ゴマージュと酵素の効果と手順について述べるができる。	前回までの復習と予習：新エスティック学テキストのディープクレンジングの効果と手順の確認を行う
第15回	ディープクレンジング復習（ゴマージュ・酵素）③（正確性の確認）	ゴマージュと酵素の効果と手順を選択することができる。	前回までの復習と予習ディープクレンジングの効果と手順の理解と禁忌事項の確認を行う

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ディープクレンジング復習（ゴマージュ・酵素）④（禁忌事項の確認と理解）	ゴマージュと酵素の効果と手順を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：ブラシクレンジングの効果と手順の確認を行う
第17回	ディープクレンジング復習（ブラシクレンジング）①（手順の確認）	ブラシクレンジングの効果と手順を理解し的確に回答できる。	前回までの復習と予習：ブラシクレンジングの効果と手順の確認を行う
第18回	ディープクレンジング復習（ブラシクレンジング）②（手順の実践）	ブラシクレンジングの効果と手順について述べるができる。	前回までの復習と予習：ブラシクレンジングの効果と手順と禁忌事項の確認を行う
第19回	ディープクレンジング復習（ブラシクレンジング）③（正確性の確認）	ブラシクレンジングの効果と手順を選択することができる。	前回までの復習と予習：ブラシクレンジングの効果と手順と禁忌事項の確認を行う
第20回	ディープクレンジング復習（ブラシクレンジング）④（禁忌事項の確認と理解）	ブラシクレンジングの効果と手順を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：ブラシクレンジングの効果と手順と禁忌事項の確認を行う
第21回	フェイシャル電気機器復習（イオントフォレーゼ）①（手順の確認）	イオントフォレーゼの効果と手順を理解し的確に回答できる。	前回までの復習と予習：イオントフォレーゼの効果と手順の確認を行う
第22回	フェイシャル電気機器復習（イオントフォレーゼ）②（手順の実践）	イオントフォレーゼの効果と手順について述べるができる。	前回までの復習と予習：イオントフォレーゼの効果と手順の確認を行う
第23回	フェイシャル電気機器復習（イオントフォレーゼ）③（正確性の確認）	イオントフォレーゼの効果と手順を選択することができる。	前回までの復習と予習：イオントフォレーゼの効果と手順と禁忌事項の確認を行う
第24回	フェイシャル電気機器復習（イオントフォレーゼ）④（禁忌事項の確認と理解）	イオントフォレーゼの効果と手順を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：イオントフォレーゼの効果と手順と禁忌事項の確認を行う
第25回	フェイシャル電気機器復習（パター）①（手順の確認）	パターの効果と手順を理解し的確に回答できる。	前回までの復習と予習：パターの効果と手順の確認を行う
第26回	フェイシャル電気機器復習（パター）②（手順の実践）	パターの効果と手順について述べるができる。	前回までの復習と予習：パターの効果と手順の確認を行う
第27回	フェイシャル電気機器復習（パター）③（正確性の確認）	パターの効果と手順を選択することができる。	前回までの復習と予習：パターの効果と手順と禁忌事項の確認を行う
第28回	フェイシャル電気機器復習（パター）④（禁忌事項の確認と理解）	パターの効果と手順を体験し行うことができる。	前回までの復習と予習：パターの効果と手順と禁忌事項の確認を行う
第29回	フェイシャル電気機器復習（高周波）①（手順の確認）	高周波の効果と手順を理解し的確に回答できる。	前回までの復習と予習：高周波・直接法、間接法の効果と手順の確認を行う
第30回	フェイシャル電気機器復習（高周波）②（手順の実践）	高周波の効果と手順について述べるができる。	前回までの復習と予習：高周波・直接法、間接法の効果と手順と禁忌事項の確認を行う